

## はじめに

「学校が足りないすべての子たちに教育を」とは我がJHPの初めからのスローガンであり、「教育の機会を奪われた子のためにはどこにでも行きます」とも言っているのに、なぜカンボジアだけなのか？と若い人に突き上げられたJHP代表は「先立つものはお金です」と言訳けしつつ「カンボジアだけではありません、ラオスにも建てたし、緊急のテント教室ならアフリカのジブチや大地震後のインドにつくったし、アフガンは学生を送れる状態ではなかったから、友好団体に資金を委託して校舎を建設しているわヨツ」と言ったものの二〇年近く通っているカンボジアには信頼できる知人も増えたとし、仕事はしやすいと再確認。

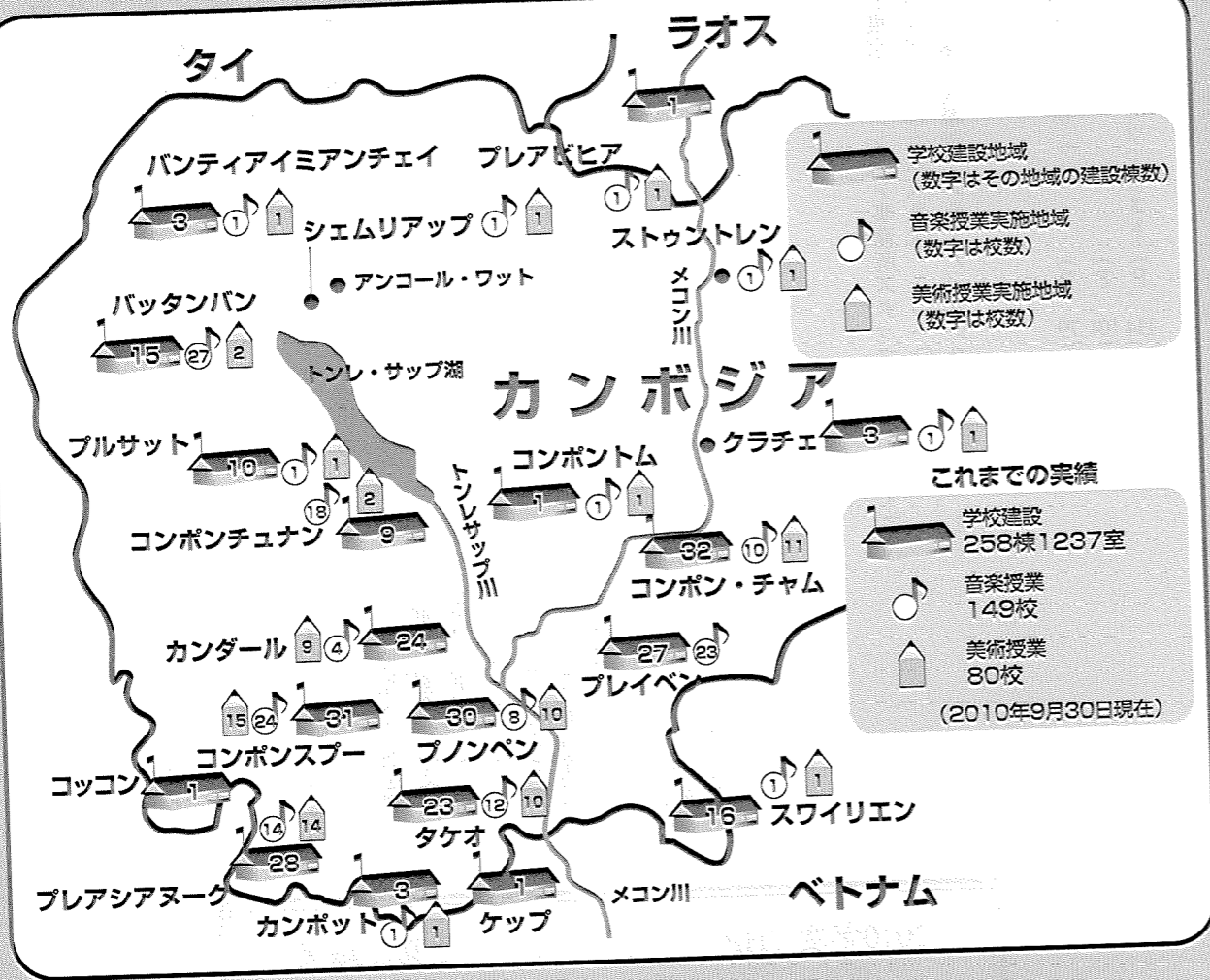
だが、それは私たち、つまり第一世代の言い分で、世代交替を考える今、次の世代に新しい道を切りひらかなければならない。

一九九四年二月、幾つかのNGOが集まって緊急支援のJENSを結成し、AMDAという医療グループも参加した、アジア版国境なき医師団であり、ネパールからラジブという医師が馳せ参じ、ユーゴスラビアの救援活動に入った、JHPもJENの拠点を中心に次々と活動隊の学生を送り込み、その誰彼となくラジブが面倒を見てくれた。明るく経験豊かな彼はJHP学生が頼れる若い叔父さんという存在で大人気だった。その彼が自分の国の政権は今是不安定だが、収まったらネパールにも学校を建ててほしいと言い、それが今度の遠征調査となったのだが、はつきり言って大変だった。大変だった代りに宇宙は（と話がでかいが）ちゃんと御褒美をくださった。八千メートル級のヒマラヤ連山が青空にくっきりと雪をかぶって迎えてくれたのだ。もとより観光旅行ではない。それだけにビューポイントから対峙した山からの霊気は全く音はなく、清浄すぎるほどの空気でそれに全身を包まれると、小さな考えはすべて吹きとんで消滅していた。芳紀まさに八〇歳、これほど素晴らしい朝が、我が生涯に組み込まれたとは、それも天空からの教えだと心から素直に従う心地となり、いまある「生」に感謝の念を捧げました。来年はどのような乱調の年になると、JHP代表が皆さんの代表として地球の霊山より受けた清浄なるパワーで前に進みたいと思っております。

小坂美江子

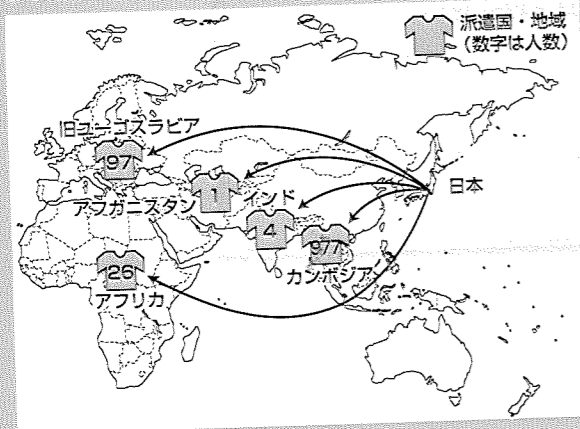
# JHP 国際協力17年の歩み

## カンボジアの支援状況



### 海外ボランティア派遣の実績

JHPは地球市民教育の実践としてボランティアを派遣しています。国内災害救援の派遣者を含めると1000人を超えています。



### JHPの主な発行物

JHPが作成した教科書等はカンボジアの音楽、美術、衛生教育に役立てられています。



### 海外活動

- 9月 ネパール視察後建設校を決定する
- 12月 JHP支援のマーチングバンドがマレーシアの世界大会に出場
- 10月 事業評価を実施  
カンボジアに631人の寄付による200棟目の校舎が完成。  
8月 記念ツアーを開催
- 2月 国際ボランティア・カレッジカンボジア研修実施。JHPとして初めてアンコールワット遺跡群の研修を実施。
- 8月 カンボジアで初となる音楽教科書完成。  
6月 CCH「幸せの子ども」に2棟目の施設完成。  
代表小山内がカンボジア王国よりモナラボン大十字勲章受賞。  
カンボジアに150棟目の校舎完成。
- 1月 第1回音楽コンクール開催。(以後、毎年1回実施)
- 12月 JHP支援による100棟目の校舎が完成する。  
ボスニア(旧ユーゴスラビア)活動4名派遣。  
9月 マーチングバンド専門家の短期指導実施。(以後、年1~2回実施)  
8月 JHP初となるラオス王国での校舎完成。  
1月 外務省の日本NGO支援無償資金でカンボジアに机・椅子を輸送。(以後、数回実施)
- 12月 JHP初の孤児院完成。(ローカルNGOのCCH「幸せの子ども」による運営はじまる。  
9月 ラオス、バングラデシュ視察(小山内、今川、佐伯)  
8月 カンボジア活動派遣者が500名突破。  
3月 ユニセフとの合同プロジェクトでアフガニスタン支援開始。  
駐在員を1名派遣。
- 12月 初めてのスタディーツアー開催。(以後、毎年1~2回開催)  
カンボジア王国と覚書を交わし正式なNGOとして認められる。  
2月 JENの要請でインド地震救援隊4名派遣。
- 10月 JHPの音楽研修でプノンペン市認定の音楽教師7名誕生。  
代表小山内の支援でマーチングバンドプロジェクト開始。
- 12月 プノンペン市で第1回画展覧会を開催。  
9月 ユーゴスラビア活動中に4名がコソボ視察。  
4月 JHP美術教育プロジェクト開始。日本人教師1名派遣。  
3月 シアヌークビル市に「カンボジア日本友好学校」が完成。
- 9月 JENを通じてコソボ難民への支援開始。  
3月 カンボジア活動隊派遣。整備中に小枝基史さんが持病で亡くなる。  
3月 カンボジア教育者とJHPがNGO活動の合意書を結ぶ。
- 12月 アフリカに毛布をおくる運動に初めて学生3名派遣。  
カンボジアのシアヌークビル市の実地調査を開始。  
10月 旧ユーゴスラビア「愛のボッシュェット運動」に5名派遣。  
カンボジア30年来の大洪水で緊急支援を呼びかける。  
2月 カンボジアに当会として初めて音楽教師1名派遣。
- 9月 旧ユーゴスラビア隊派遣。ボスニア戦争により新たに発生したセルビア難民への救援活動に学生を派遣。  
5月 プノンペン市内47校に楽器を配る。  
3月 カンボジア王国にプノンペン事務所設置。
- 10月 JEN事務所に当会から駐在員1名派遣開始(97年4月まで)  
9月 旧ユーゴスラビアのリエカで難民の人々への支援活動。  
8月 ペオグラドからモンテネグロへ、赤十字のブランドで支援開始。  
7月 旧ユーゴスラビア隊派遣開始。クロアチアの難民キャンプにブレイグラウンド建設。※この時にJHPのオレンジシャツが完成。  
旧ユーゴスラビアを支援するNGOグループ「JEN (Japan Emergency NGOs)」誕生。  
3月
- 12月 カンボジア活動隊派遣開始。(以後、年2~3回を継続)  
第1棟目の「ダンカオ小学校」完成。

### 国内活動

- 10月 国際ボランティアカレッジが第3回共生「共生優秀賞」を受賞  
6月 東京事務所を港区芝の読売理学院ビル6階に移転  
2月 10年ぶり赤坂BLITZにてチャリティーイベントを開催
- 12月 チャリティーオークションパーティー(2回目)開催  
9月 代表小山内が第20回毎日国際交流賞を受賞
- 10月 15周年記念祝賀会開催(東京プリンスホテルにて)  
9月 小山内美江子国際ボランティア・カレッジ第2期開講  
7月 東京事務所を浜松町宮下ビル4階に移転
- 12月 チャリティーオークションパーティー開催  
9月 小山内美江子国際ボランティア・カレッジ開講  
5月 JHP・藤原紀香カンボジア子ども教育基金スタート。
- 10月 藤村志保さん地味舞特別公演  
7月 天満敦子さんチャリティーコンサート開催(以後、毎年)  
2月 三宅島鳥島ボランティア支援活動参加
- 10月 中越震災のボランティア活動実施  
7月 新潟水害のボランティア活動実施  
1月 国税庁より日本で19番目に「認定NPO法人」に認められる。
- 11月 代表小山内が第8回学賞を受賞  
8月 「熟海くさくさ」から国際協力アート展開催。  
(以後、年1回実施)  
2月 代表小山内「「ボス」と暮らした教師」(岩波書店)発行
- 5月 東京放送(TBS)にてテレビ番組「響る言葉〜脚本家・小山内美江子のメッセージ」が放送される。  
2月 代表小山内の「もろもろ受賞を祝う会」開催。
- 8月 六本木の三河台中学校に事務所移転。開所式を行う。
- 10月 東京都よりNPO法人に認められる  
6月 NPO法人設立総会開催
- 10月 代表小山内「できることから始めよう〜ハナコと太郎のボランティア青春記」(講談社)発行  
1月 代表小山内「メコンに響け小学校」(佼成出版社)発行
- 11月 チャリティーコンサート&バザール「カンボジアに中学校と金八先生を！」開催  
熊本県国際課の研修生招聘制度に当会推薦のカンボジア人が採用される。(以後、毎年1名採用)
- 9月 地震発地日本キャンペーン(JCBL)の構成団体となる。  
4月 団体名を「JHP・学校をつくる会」に改称。会費員制を導入。  
2月 日本海軍油災害発生。回収ボランティア派遣。
- 8月 東京事務所を港区赤坂の「シナリオ会館」に移転。  
1月 阪神大震災チャリティーアート展・バザール開催。
- 1月 阪神大震災発生。当日から救援活動開始(同年8月まで継続)
- 11月 御殿場市国際交流協会より約1トンの楽器を頂く。  
12月 第1回チャリティーイベントをキャピトル東急ホテルで開催。

1993.9  
JHP設立